

**竹内農場西洋館ライブ&見学会
2024—西洋館を楽しもう！**

長山コミュニティセンターにて

2024年10月5日（土）14:00～15:30に昨年の西洋館竣工100周年記念式典&交流会に引き続き、市の市民活動サポート補助金をいただいて、「竹内農場西洋館ライブ&見学会2024」を開催しました。残念ながら雨天のため、会場を長山コミュニティセンターに変更して実施したにも関わらず、関係者を含めて47名の参加がありました。竹内明太郎の曾孫の竹内在様や松戸市戸定歴史館名誉館長・斎藤洋一様からの心のこもったご挨拶、当NPO前田享史理事長からはこれまでの西洋館保存活動の取り組みについての説明があり、工学院大学総合研究所客員研究員の二村悟様には「西洋館の魅力と楽しむための利活用」と題して、様々な提案を豊富な事例を通して解説していただくとともに今後の対応への大きなヒントを与えていただきました。『活用の第一歩は“公開” 特別な設備や機器を導入しなくても多様な方法を検討できる。最初から使い方を固定せず、短期間で試験的な活用を繰り返す中で、その建造物にあった使い方、地域に求められる使い方を探す。その方向性は（1）建造物の従来の機能や役割から発想する（2）建造物の内外の空間を楽しむ（3）地域で喜ばれる使い方を見つける』龍ヶ崎に残された大正時代の貴重な文化財を今後、どのように修復・利活用していくかについて考える大きな一歩になったと言えます。

また、最後に熱のこもったTrio pivotによるヴァイオリン・クラリネット・バスクラリネットの三重奏がたっぷり演奏され、参加者と一体となって会場全体が盛り上がっていい雰囲気でした！

ありがとうございました。

島村宏之

旧小野瀬邸でお琴の伴奏による日本舞踊のイベントの開催

2024年9月29日（日）午前9時から旧小野瀬邸で家主の菅井さんの奥さんと店舗の会場の準備を行いました。奥さんは前日も掃除をしたとのことですが、舞台となる板の間と観客席とする店舗の板の間部分の拭き掃除を行い、衝立などの舞台装置を整備しました。座布団と椅子8個を並べて、20人分の観客席をつくりました。昼前に子育てカフェを運営している吉澤美緒さんが準備のためにお仲間と来られて、茶器やお菓子の器などを用意され、控室で着物の着付けなどをされました。

午後1時から20名弱の参加者を前にして、10数年ぶりにこの店舗でイベントが開催できることになりましたとの開会あいさつを私が行い、吉澤美緒さんの日本舞踊を教え子の2人のお琴の伴奏で3曲ほど鑑賞してもらいました。その後、参加者に建物内部の見学、奥の日本間で和菓子と抹茶で懇談していただきました。参加者には外の庭も自由に見学してもらい、休む間もなく2時半から第2回目を開催して、10数人の観客の方に同様に楽しんでもらいました。

お菓子の器やお茶の器などの片付けに結構時間がかかり、撤収を終えたのは4時半となり少し疲れ果てましたが、参加者には喜んでもらえたようです。参加費の1人1000円の半分は美緒さんにお茶菓子などの費用としてお渡しし、半分は家主に建物維持協力金として支払ってイベントは大成功でした。旧小野瀬家でのイベントが継続して開催できるようにしたいと思います。

海老塚良吉



旧小野瀬邸にて

地域の歴史的建造物を活かしたまちづくり

24年9月15日(日)午後1時半から市民活動センターでシンポジウムを開催(市民活動センター、比較住宅都市研究会、当NPO法人共催)して龍ヶ崎まちづくり講座「地域の歴史的建造物を活かしたまちづくり」について荻谷勇雅氏(日本イコモス国内委員会監事)にお話しいただきました。

私は1977年京都市役所に就職。市街地景観保全、歴史的町並み保存、近代洋風建築群保全等を担当。1995年、文化庁文化財部建造物課に移り、伝統的建造物群の保存、重要文化財建造物の修理企画等を担当。また、登録有形文化財制度創設に関わった。その後、2009年から2014年まで小山工業高等専門学校校長を務め、高専の地域貢献拡大を図った。現在は、日本イコモス国内委員会のメンバーとして、世界文化遺産をはじめ、国内外の文化遺産の保存・活用と歴史まちづくりの発展をめざして活動している。

龍ヶ崎市には、重要文化財の来迎院多宝塔(1556年以前建立)があり、見学したら修理に合成樹脂が使われていた。川北家や旧小野瀬邸、竹内農場西洋館(1920年築)、旧諸岡家住宅の煉瓦門及び塀(1910年築、登録有形文化財建造物)、八坂神社本殿(1735年、市指定文化財)覆屋は1851年建立で痛んでいるが彫刻が素晴らしい、星宮神社は江戸時代に再建、1989年に社殿修理、拝殿改築、旧高松邸石蔵(1933年)、流通経済大学の中原教授が保存活用している古民家などの多くの歴史的建物がある。

登録有形文化財(建造物)制度は、緩やかな保護手法として1996年に制度創設、保存意識を醸成し、古民家などの取り壊しに歯止めをかけた。道路等から望みできる外観の1/4以内の変更なら届け出は不要。軽減税制(固定資産税2分の1、相続税3割減)、修理の設計監理費補助等の支援、灯台や堤防などの土木工作物も含む。

文化的景観の保護は平成16年(2004)制度創設、近江八幡の水郷など重要文化的景観は現在72地区。景観法(2004～)による景観計画策定は全国666団体(24年3月)。「地域における歴史的風致の維持向上に関する法律」2008～、まちづくり行政(国土交通省・農林水産省)と文化財行政(文化庁)が連携して観光まちづくり、2017年度「文化財総合活用・観光振興戦略プラン」等を活用し、重点支援を実施。観光拠点形成重点支援事業、文化財建造物を活用した地域活性化事業、文化財修理等の事業の改善。2018年度以降新たな事業の枠組みを設定し、加速する。古民家等利活用の特別枠を設定、重要伝統的建造物群保存地区など、観光まちづくりの潜在力の高い地域を選定、宿泊施設等の観光目的での利活用

に資する文化財の改修等を重点的に支援。重要伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物を利用した営業の営業許可基準の緩和(2012年4月～)。文化財保護法改正

(2018年)保存と活用の両立、市町村による「文化財保存活用地域計画」の策定、市町村が文化財の保存・活用の推進主体となる民間団体を指定、個々の文化財の「保存活用計画」を法的に位置付け、文化財を守る技術・技能やそれを担う職人・原材料の確保、修理事業の質の維持向上と人材育成、文化財行政に携わる人材や学芸員等の育成。

文化財保存活用地域計画は、各市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プラン。当該市町村における文化財行政の取組の方向性を計画として対外的に明示するとともに、作成した「文化財保存活用地域計画」を広く周知し、民間団体等の様々な関係者のみならず地域住民の理解・協力を得ることにより、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用を図っていくもの。文化庁による認定は現在169件、茨城県内は牛久市、常陸太田市、日立市、土浦市、かすみがうら市、石岡市の6市。龍ヶ崎も策定をしたらどうか。」

質疑討論では、龍ヶ崎では歴史的建造物はわずかに点在するだけでまとまった町並みとはなっていないがこれで街並みが美しくなるのか、10数年の時間をかけて次第に町並みを取り戻してきたところが数多くある、牛久市に文化財保存活用地域計画があるのは牛久シャトーがあるためだろうが、龍ヶ崎市では行政に関心がなくて、現在は、取り組む可能性が薄い。文化財保存活用地域計画が策定されると歴史的建築物の保存活用がきちんとオーソライズされて自治体がしっかりと取り組むことにつながり、メリットは大きい、歴史的建築物の保存活用は所有者の負担もあるが、運営団体がサポートするなどして所有者の負担軽減を図っている事例が多い、歴史的な資源を保存するための先行投資として自治体はこの分野の支出を増やす必要がある、歴史的文化的財の保存にとどまらずに地域経済の活性化などの多面的な効果を考慮して、自治体はこの分野の投資を増やすべきであるなどが議論されました。

研究会後の懇親会には地元龍ヶ崎や東京からの参加者など10人余りで飲みながらの2時間余りの懇談が続きました。研究会では十分に理解できないほどの大量の情報が含まれていて消化不足になりましたが、長年にわたり整備されてきた関連する法制度をきちんと理解して、龍ヶ崎でどのように運用するかは困難な仕事です。断片的には全国各地での事例は知っていますが、それぞれの地域で実情が異なり、十分な理解をしたうえで、龍ヶ崎で応用する必要があるようです。

海老塚良吉

NPO法人“矢中の杜”の守り人の皆さま龍ヶ崎を視察訪問



竹内農場西洋館にて

2024年3月10日(日)つくば市北条の国指定重要文化財旧矢中家住宅の保存活用を行っているNPO法人“矢中の杜”の守り人の皆さまが龍ヶ崎を視察訪問されました。

当NPO法人も2022年7月、旧矢中家住宅がまだ登録有形文化財の時に訪問しております。その翌年、まさかの重要文化財に格上げ。びっくりでした。守り人の皆さまの管理が行き届いているのも重要文化財指定の要因の一つと考えます。

今回は、私たちの旧矢中家訪問のお返しのような形で、龍ヶ崎を訪問していただきました。参加者14名+子供1名。高校生や大学生もおられ、皆さん若い方ばかりでびっくり。

一方、案内役のNPO龍ヶ崎建物保存会からは9名。平均年齢約70歳。この違いはいったい何なんだろうと考えてしまいます。

午前10時 女化神社に集合し、その後竹内農場西洋館まで移動。当NPO法人前田理事長が竹内農場の歴史と西洋館の現状について説明。西洋館は普段は非公開ですが特別に内部も見学していただきました。現状の廃墟だからこそ建物の構造が分かり、つくば市から来られた方々にとって、貴重な体験が出来たと思います。

続いて重要文化財多宝塔を見学。そして昼食&交流会は龍ヶ崎市市民活動センターにて、仕出し弁当を取り寄せて、楽しいひと時を過ごし、交流を深めることが出来ました。

午後からは歴史民俗資料館、登録文化財旧諸岡邸赤レンガ門塀、八坂神社、登録文化財旧小野瀬邸そして最後は源内にご案内し、お土産を買っていただきました。

特に関心が高かったのが旧小野瀬邸で、時間が許す限りじっくり見ていただきました。旧矢中家住宅とは違った魅力を感じていただけたようです。「小野瀬家初代当主は北条の方だったようです」と説明すると、

旧小野瀬邸に対する親近感が湧いた様子でした。

龍ヶ崎は奥が深く、1日では全然足りないのではまた来たいです」と、嬉しいお言葉を掛けられました。天気も良くて素晴らしいイベントになりました。

“矢中の杜”の守り人の皆さまお疲れ様でした。ぜひ、また来てください。

交流を通して感じたことは、今後の旧小野瀬邸の活用と運営に関してNPO法人“矢中の杜”の守り人の皆さんをお手本としたい。そして高校生、大学生を上手く取り込むことにより、若い会員が集まる仕組みづくりを少しでも学んだ気がします。

前田享史

旧小野瀬邸の障子貼替作業

所有者からの依頼により、当NPO法人は旧小野瀬邸の障子の貼り替え作業を行いました。

第1回目は2024年3月4～5日の2日間で、主屋3部屋と店舗部2階の3部屋の貼替を作業人員10名、2日間かけて行いました。

第2回目は2024年10月21日、西棟の住居部分2部屋と前回出来なかった箇所貼替を行いました。作業人員9名で、朝の9時から夕方までの作業となりました。素人ながら綺麗に出来たと思います。

前田享史



龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット 「コミセンウォーキング龍ヶ崎下町、砂町コース」

当NPO法人は龍ヶ崎市地域づくり推進課のまちづくり・つなぐネットに「市内の歴史的建造物を含む歴史散歩の案内」を協力をする団体として登録しています。

今回も、その窓口である市民活動センターを仲介し、1月23日（木）八原まちづくり協議会主催、当NPO法人協力のコミセンウォーキングが開催されました。企画と案内は当NPO法人理事長の前田が行いました。

参加者は八原まちづくり協議会募集による12名のほか当NPO法人からスタッフ1名及び市民活動センタースタッフ1名 計14名。

今回は龍ヶ崎市民待望のギャラリーが砂町にオープンすることとなり、見学コースに加えさせていただきました。グランドオープンが1月22日。まるで今回のウォーキング企画に合わせていただいたかのようなタイミングの良さにびっくりです。ギャラリーは昭和10年建築の町家をリノベーションして活用。展示スペースは1階の土間と和室。そして2階の和室。様々な展示企画に利用出来そうです。当日はオープン2日目で、「起- はじまり：横尾哲生 藤原ゆみこ SHION/紫苑 MANAHI/真緋 4人展」が開催されていました。

ウォーキングコースは城南ショッピングセンター9時集合、9時10分出発 龍ヶ崎観音→岡田屋菓子店跡→並木通り→江川→医王院→金刀比羅宮→飯野屋酒店（詩人澤ゆき排出）→町家アートギャラリー→城南ショッピングセンター11時45分解散。約3kmを2時間30分かけて楽しく歩き、龍ヶ崎の歴史の一端を垣間見ることが出来たと思います。

前田享史



町家アートギャラリーにて

秋の歩く歴史講座「八代町と城ノ内の名所旧跡巡り」



北辰一刀流宗家道場にて

2024年10月19日（土）「歩く歴史講座～八代町と城ノ内の名所旧跡巡り」が龍ヶ崎市市民活動センター、龍ヶ崎市教育委員会、龍ヶ崎建物保存会の共催にて開催されました。

企画と案内は当NPO法人の前田で、聞き取り等の現地調査と下見を何度も繰り返し、この企画を立てました。今回は、何とんでも坂本龍馬を輩出した北辰一刀流。その流れを汲む宗家道場が城ノ内に所在するという。普段は公開していないけど、公的なイベントということで特別に見学の許可が下りました。このお陰で今までにない面白い企画となりました。

当日は10月だというのに、気温30℃。少々暑かったけど、参加された22名（スタッフも含む）の皆さまには、坂道の多い4キロ弱の道程を元気よく歩いていただきました。

9時20分、北辰一刀流宗家駐車場に集合。9時30分、本格的日本建築の宗家道場尊星閣を見学。七代目宗家椎名氏より北辰一刀流のこと、尊星閣の建築様式のこと、そして八代や龍ヶ崎の歴史について40分ほどお話いただき、最後に道場の見学10分ほど。大変貴重な体験ができ、参加された皆さん大喜びでした。

その後は曹洞宗桂昌寺、外屋代城址、道祖神社、やまびこ自然園キャンプ場、辺田坪子安様、厳島神社、富士神社、屋代城、天神様と大急ぎで見て回りました。

そして解散後、希望者（7名）に徒歩3分ほどのところに鎮座する小さな祠八幡様へのご案内しました。

今回の企画にご協力いただいた北辰一刀流七代目宗家椎名様大変ありがとうございました。

前田享史

NPO建物保存会

